

9月定例会の概要

会期：9月9日から9月26日までの18日間

会期:9月9日から9月26日までの18日間

▼ 一般質問議員 16人

9月16日(火)		9月17日(水)		9月18日(木)		9月19日(金)	
鈴木	徳久	中本	浩精	三栖	拓也	尾崎	太郎
新島	雄	玄素	彰人	上山	寿示	岩永	淳志
山下	直也	中尾	友紀	片桐	章浩	中西	徹
浦口	高典	藤本	眞利子	北山	慎一	坂本	登

会期中の主な動き

▼ 特別委員会の開催

防災・国土強靱化対策特別委員会	9月16日
人権・少子高齢化問題等対策特別委員会	9月17日
半島振興・地方創生対策特別委員会	9月18日
行政改革・基本計画等に関する特別委員会	9月19日

▼ 特別委員会の設置

決算特別委員会を設置し、委員を選任 …………… 9月26日

議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件 (知事提出)	1件	令和7年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件 (〃)	6件	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件 (〃)	2件	令和6年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件 (〃)	8件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて 等	同意
その他案件 (〃)	9件	令和7年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書	1件	男性へのＨＰＶワクチンの定期接種化に関する意見書	可決



紀三井寺公園陸上
競技場・野球場

スポーツ拠点施設の在り方

問 老朽化が進む県立体育館、紀三井寺公園陸上競技場・野球場は、県内のスポーツ活動の拠点であるが、

今後の拠点施設の確保に向けた取組について
知事に伺う。

答 いずれの施設も長く県民から親しまれてきました。建築から60年が経過しているものの、紀の国わかやま国体を前に大規模改修を行うなど拠点としての機能確保に努めています。

人口減少のもとで資源に制約がある中、まずは県有スポーツ施設の

状況を再確認するとともに、利用者のニーズの把握や他の都道府県の整備状況の調査などを行い、拠点施設の在り方について検討していきます。

女性用トイレの整備・改善

問 女性用トイレの行列問題に関して、県の対応と施設改修を含めた今後の方針を伺う。

答 国土交通省では、トイレ設置数の統一的な基準を来年度には策定するという方針が示されています。既に県有施設では女性用トイレに行列が発生しないよう運用上の工夫をしながら、混雑緩和に努めています。

国基準策定後には、県有施設以外の関係機関等にも女性用トイレの混雑緩和を働きかけるとともに、県有施設を改修する場合は、国の基準を踏まえて改善を図るよう検討を進めていきます

ヤングケアラ

問 ヤングケアラーへの支援体制の整備・強化について知事に伺う。

答 ヤングケアラーには様々なケースがあり、まだまだ十分に理解されていない部分が多くあると考えます。ヤングケアラーへの支援を進めるに当たり、ヤングケアラーの元当事者や専門家、市町村、学校などが問題解決に向けて意見交換することは非常に有意義なことだと思っており、そのような場の設置も考えたいと思います。

用語解説 **ヤングケアラー**…家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められることも・若者のこと(子ども・若者育成支援推進法)

林業振興

問 林業振興に向けた知事の考えについて伺う。

答 「木を伐って、使って、植えて、育てる」という森林の循環利用の促進を図ることが重要だと考え、本年3月に策定した林道整備計画に基づき、林道整備の加速化に取り組んでいきます。

また、機械化やデジタル技術の導入、公共建築物や民間非住宅建築物における積極的な紀州材の活用、林業従事者の所得向上などを推進し、和歌山「木の国」の循環型林業の実現に積極的に取り組んでいきます。



外国につながるのある児童生徒への支援

問 母国の文化や知識、経験を尊重し、支援に生かしていくことが必要と思うが、どうか。

答 外国につながるのがあることもが
安心して学校生活を過ごすために
は、学校全体で寄り添い支える体制の
整備に加え、来日した理由や、母国の
文化などを共通理解した上での配慮や
支援が必要です。

県教育委員会では、受入体制や支援の在り方を学ぶ研修会等を行っており今後も、このような研修会等を通して学校全体での支援体制や個々の状況に応じたきめ細やかな支援の充実を図っていきます。

スポーツ拠点施設の在り方

問 老朽化が進む県立体育館、紀三井寺公園陸上競技場・野球場は、県内のスポーツ活動の拠点であるが、

今後の拠点施設の確保に向けた取組について
知事に伺う。

答 いずれの施設も長く県民から親しまれてきました。建築から60年が経過しているものの、紀の国わかやま国体を前に大規模改修を行うなど拠点としての機能確保に努めています。

人口減少のもとで資源に制約がある中、まずは県有スポーツ施設の

状況を再確認するとともに、利用者のニーズの把握や他の都道府県の整備状況の調査などを行い、拠点施設の在り方について検討していきます。

女性用トイレの整備・改善

問 女性用トイレの行列問題に関して、県の対応と施設改修を含めた今後の方針を伺う。

答 国土交通省では、トイレ設置数の統一的な基準を来年度には策定するという方針が示されています。既に県有施設では女性用トイレに行列が発生しないよう運用上の工夫をしながら、混雑緩和に努めています。

国基準策定後には、県有施設以外の関係機関等にも女性用トイレの混雑緩和を働きかけるとともに、県有施設を改修する場合は、国の基準を踏まえて改善を図るよう検討を進めていきます